パブリックコメント募集 第2期尾道市まち・ひと・ しごと創生総合戦略(案)

地方創生の取組の方向性を示す 「第2期尾道市まち・ひと・しごと創 生総合戦略」を策定します。

公表期間·意見募集期間

2月14日(金)~3月9日(月)

意見提出できる人(次のいずれかに該当) ①市内に住所・所在地を有する人・団 体 ②市内の事業所・学校等に通勤・ 通学している人 ③市に対する納税義 務を有する人・団体 ④策定案に利害 関係を有する人・団体 等

提出方法 持参か郵送、FAX、メールで ※意見書の書式は自由(住所・名前の 記載は必須)。参考書式は市ホーム ページからダウンロード可。

公表場所 市ホームページ、市役所 1階ロビー、政策企画課、各支所

■ 〒722-8501 久保一丁目15-1 政策企画課(☎0848-38-9452・ 図0848-37-2740) kikaku@city.onomichi. hiroshima.jp



市営住宅入居者募集

受付期間 2月19日(水)~21日(金) 抽 選 日 3月 5日(木) 市営住宅管理センター、まちづくり推進課、各支所で配布している「申込のしおり (市営住宅入居者募集案内)」や市ホームページを確認のうえ、申込みください。 ※入居資格あり。

申 問 市営住宅管理センター (☎0848-21-1266)

公営住宅	住宅名 (所在地)	戸数	間取り	単身 可能	家 賃	公営住宅	住宅名 (所在地)	戸数	間取り	単身 可能	家 賃
	三美園No.1 (美ノ郷町三成)	1	2DK	0	8,300円~15,000円		向浜B-1 (因島三庄町)	1	3LDK	×	20,400円~40,200円
	三美園No.2 (美ノ郷町三成)	1	2DK	0	8,500円~15,300円		向浜B-2 (因島三庄町)	2	3LDK	×	19,200円~37,800円
	幸が丘No.1 (栗原町)	1	3DK	0	9,900円~17,800円		向浜C (因島三庄町)	1	3LDK	×	28,200円~55,300円
	幸が丘No.2 (^{栗原町)}	1	3DK	0	10,100円~18,400円		足摺 (因島田熊町)	1	3DK	×	15,800円~31,000円
	栗原向ヶ峠No.1 (^{栗原町)}	1	3DK	X	19,700円~38,700円		林No.2 (瀬戸田町林)	1	2DK	0	16,600円~32,500円
	東新涯No.4 (高須町)	1	2DK	0	20,100円~39,600円	改良住宅	沖側 (沖側町)	2	3DK	×	16,200円~21,400円
	岩井堂 (御調町市)	3	2LDK	0	21,100円~41,500円		新高山No.1 (新高山2丁目)	1	3DK	0	11,700円~15,400円
	岩井堂 (御調町市)	1	3LDK	0	27,300円~53,500円		新高山No.2 (新高山2丁目)	1	3DK	0	11,900円~15,700円
	中央 (御調町市)	1	3DK	0	16,700円~32,900円	賃貸 住 宅 共	才の奥 (御調町市)	1	3LDK	×	44,000円~62,000円
	土井ノ内 (御調町市)	2	3DK	0	17,400円~34,100円		本西 (御調町本)	2	3LDK	×	44,000円~62,000円
	天女が浜No.1 (向東町)	1	3DK	X	14,300円~28,100円					至三成↑	●エディオン

※「岩井堂 | 「向浜 C | はエレベーター設備あり。

お知らせ

即申込方法·由 日日時·期間

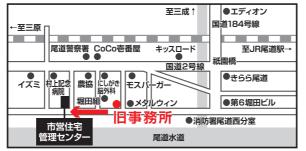
問い合わ

ファクス

ル鏑

市営住宅管理センターは1月6日より次の場所へ移転しました。 〒722-0014 新浜一丁目14-11

☎0848-21-1266 (電話番号に変更はありません)





「やっぱり向東が一番ええわ〜」というまちづくり **向東公民館**

地域の拠点施設である向東公民館は、元気なまちづくりに貢献するため、地域住民や各種団体と繋がりながら活動しています。

これまでに、平成29年度に「防災フェア」、平成30年度には「地域の宝を探せ大作戦」と、多くの住民を巻き込んだ事業を行ってきました。今年度は、向東町の良さや課題を地域住民が共有し、住民が主体となって活気に満ちたまちづくりを考えていくことが大切だと考え、「まちづくり講座」をシリーズで行っています。

強みと弱みを出し合い、課題解決に向け話し合い

7回の通年講座で、毎回約60人が参加しています。第 1回目では、参加する19団体の交流会と公民館長から 「まちづくり講座」の趣旨についての話のほか、参加者から、向東町の強みと弱みを出し合いました。また、この 時、実行委員会を立ち上げ、委員の皆さんにまちづくりの 推進役となってもらいました。



子どもも参加の課題別グループワーク



講師の講義を熱心に聴く参加者

2回目からは、講師にコミュニティデザイナーの内海慎一さんを迎え、1グループに1人の実行委員を中心にグループワークを行っています。

課題を、①買い物の場所がない・遠い、②高齢者の交通 手段(免許返納の問題)、③耕作放棄・空き家対策、④子 どもの遊び場・見守りの人、⑤地域(高齢者)ふれあいの 場、⑥外部へ地域の魅力発信、の6つに絞って話し合いを すすめ、毎回講座の最後にグループごとに発表し相互理 解を深めています。

次世代を担う子どもたちの成長にも

19の諸団体の中には小学校児童会と中学校生徒会もあり、毎回6~7人の児童・生徒も参加しています。子どもたちが、既成概念にとらわれない意見を述べたり、堂々と発表したりする場にもなっています。小学校6年生の児童の発表の中で、「私は、高齢者の交通手段(免許返納の問題)のグループに入りましたが、最初は私と関係ない事柄と思っていました。でも、話し合いを進めるうちに私たち子

どもにとって、とても大切 な事だとわかりました。」と いう発表に、参加者全員心 を打たれました。こうした 集まりが、子どもたちの成 長にも繋がっていると感じ ています。



一人ひとりが地域のことを考えられるように

現在5回目が終了し、毎回、和やかな雰囲気の中で、まちづくりに向けた話し合いが真剣に行われています。3月15日(1)10:00~、向東公民館で、各グループによる取組の発表会を予定しています。皆さんもぜひお越しください。

間向東公民館(☎0848-44-3955)